

広袴便り

広袴町内会
会報第 62 号

発行日
令和6年1月6日

発行責任者
広袴町内会
小堀 幸男

町作りの5つの柱

- 1 安心、安全な町
- 2 子どもお年寄りを大事にする町
- 3 きれいで清潔な町
- 4 伝統、文化を大切にす町
- 5 ご近所の触れ合いのある町

年頭のご挨拶



広袴町内会長小堀幸男

広袴町内会の皆さまあけましておめでとうございます。今年はいよいよさまざまな町内活動により町づくりに邁進いたしたく存じます。会員各位のご協力と活動への参加をお願い申し上げます。

昨年はコロナもほぼ収束に至り各種の行事も四年ぶりに行う事ができました。会員の皆さま、ご関係各位のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年もどんと焼き、町内清

掃、対面総会、防犯防災、夏祭り、作品展示会、歳末防犯パトロールなど人と対面し親睦が出来る行事開催を計画致します。

デジタル化情報システムを利用した広報等伝達方法へのチャレンジ、広袴会館の機能充実と保全充実などの取り組みを描いています。町内会の若返りのため幅広い年齢層の方々に役職参加を希望致します。文末ですが会員各位のご健勝をお祈りいたします。

神明社禮大祭

令和五年九月三十日、十月一

日 神明社にて宵宮祭り、禮大祭(れいたいさい)が執り行われました。



宵宮祭りには子供会の方々が用意されたちょうちんが社までの参道に灯されて雰囲気のある光景になっていてとても素敵でした。お子さんが描かれたであろうキャラクターものの絵柄など微笑ましいものなどがたくさんあり、目を楽しませてくれました。

禮大祭当日の午前中は曇りがちではありませんでしたが、多くの方が参加され、神事は厳かに執り行われました。

午後からは晴れ、お神輿日和と言
えるものでした。大太鼓、山車を先頭
に、子供神輿、大人神輿と順に広袴公
園を出発しました。道路に入ってから
は警察のパトカーを先導にしつつ、太
鼓の音がドンドンと、掛け声も「わっ
しよい！わっしよい！」と元気良く響
かせながら練り歩きます。

せせらぎ緑道のあたりでの休憩の
際は、水分補給やアイスなどで熱中症
対策も万全です。折り返して再び広袴
公園に向かっていく際も、元気良く行
進が続き神輿を上下に大きく振り動
かす場面もあり、大変活気の良いもの
でした。十四時ころに広袴公園に戻り
無事終了となりました。



鶴連地区大運動会& ウルトラクイズ

令和五年十月二十二日、町田ギオンスタジアム陸上競技場にて、鶴川地区町内会自治会連合会大運動会&ウルトラクイズが行われました。

今回は四年振りとなる陸上競技場を使った運動会。昨年とは違い、ウォークラリーは行わず競技場の中での種目がメインでした。

三十以上の町内会や自治会が集まり、広袴町内会では五十八名もの方々が集まってくれました。当日は快晴ではありませんでしたが、日陰にはいると肌寒く、やっと到来した秋を感じさせます。

朝九時三十分の開会式がスタート。まずは準備体操で体をほぐし、競技へと入っていきます。競技は全部で十二競技。定番の小学生による50m走や100m走から、一般

の方々も参加できる物干しリレー、大玉転がし、そして全員参加のウルトラクイズなど多岐に渡り、非常に盛り上がりを見せた大運動会となりました。

そのなかでも最高に盛り上がったのが、運動会の最後に行われるメイン中のメイン！運動会の花形！小学生六人と一般男女二人チームによるリレー競技、町内対抗親子リレーです！その町内対抗親子リレーでなんと広袴町内会が「優勝」！しました！本当にすばらしい！感動をありがとうございました！

そんな広袴のみなさんの大活躍もあり、非常に楽しく、大盛り上がりな一日となりました。

担当された環境厚生部のみなさま、大会運営の実行委員会のみなさま、消防団第三分団のみなさま、運動会に参加してくださった広袴町内会のみなさま、お疲れ様でした！



そしてありがとうございました！
来年の大運動会の開催もすでに決定しております。みなさん奮ってご参加ください！ギオンスタジアムでお会いしましょう！

広袴町内会 防災訓練



令和五年十月二十九日は、九時から防災訓練の予定でしたが、雨のため残念ながら中止となりました。

しかし、中止を発表したあと、雲は去り、日差しが強くなり……。これはもったいないということで、自主防災隊のみでスタンドパイプ訓練を行いました。

大規模な災害が起きたときには、電話が不通になったり、道路・電気・ガス

・水道などが寸断され、消防などの防災関連機関の活動が制限されることが予想されます。こうした場合に備え、地域の住民で連携・協力して防災活動を行わなければなりません。

今後日本で二十年以内に起こるとされている大きな災害が三つあります。一つは南海トラフ巨大地震、もう一つは首都直下地震、そしてもう一つは富士山の噴火です。

みなさんも今一度、防災について考え、備えてみてはいかがでしょうか。それが自分だけではなく、家族、ひいては周りの人々を助ける、そして助け合える「自助、共助」の糸口になるかもしれません。

幸いなことに私たちはたくさんの方の情報を得ることができます。その中から正しい知識を身につけ、それを活かした行動をとり、より良い未来へとつなげましょう。

広袴町内会では消防団員、また自主防災隊員を募集しています。興味のある方は町内会役員までご連絡ください。あなたのちからが必要です。お待ちしております。



広袴調整池周辺草刈り

令和五年十一月十二日、環境衛生部主催で 第二回「調整池周辺草刈り」を行いました。

急に冬になったような気温九度とひんやりとする朝九時から、多くの会員の方に参加いただきました。

黄葉が始まり、大量の落ち葉を集める作業と雑草刈りに汗することになりました。掃除中にも葉が落ちてきて悪戦苦闘です。清掃後は大量のごみ袋が山積みとなり圧巻でした。落葉シーズンの中、一時的ではありませんが、清掃後の調整池周囲は、スッキリきれいになりました。参加された皆様、ご協力ありがとうございました。今年度の調整池周辺草刈りは、今回で終了となります。



(株)光陽測器製作所

本社 / 〒195-0056 東京都町田市広袴2-17-14
TEL 042(736)0959 FAX 042(736)0453

吉川動物病院



診療時間 / 午前 9:00 ~ 12:00
午後 3:30 ~ 6:30
日・祭日 / 休診

町田市広袴 3-3-11

☎ 735-3487

広告募集

ご相談は最寄りの町内会委員まで

作品展示会

令和五年十一月十一日から十二日にかけて広袴会館にて広袴町内会の作品展示会が開催されました。

天気は若干のくもり模様ではありましたが、たくさんの方にご来場いただけたようでした。

展示は子供会から大人の作品までバラエティーに富んでおり、かわいらしいフェルトのマスコットやワンちゃんの紙細工、クマのぬいぐるみ。折り紙でつくられた恐竜や動物たち。電車のジオラマ。規則的な網目の並んだ竹細工のカゴ。きれいに彩られた水彩画の数々。毛筆で見事に書き上げられた書道。素敵なレースやマフラー、ベスト、帽子や手袋といういろいろな編み物。花の写真。など様々にあり目を楽しませていただいたことでしょうか。

町内会という比較的大きくはない規模の展示会ではありますが、多様な文化的活動の発表の場としての懐の広さを感じました。

次回の作品展示会でも多くの方々からのご出展がなされる事を心待ちにさせていただきたいと思います。

作品展示会の様子





— お知らせ —

広袴町内会スケジュール

- 1/13(土) どんと焼き 15時 お焚き上げ点火
お飾り持ち込みは午前中まで。お団子焼き持参 OK。
- 1/14(日) 新春マラソン大会
- 2/3 (土) クイズでウォークラリー

広袴おりおり

第34回



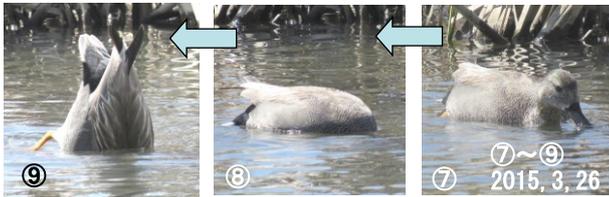
オカヨシガモの逆立ち採餌

秋、広袴池に飛来してくる冬鳥の中にオカヨシガモがいる。元々たくさん棲息するカルガモと少し似ている割に色や姿が地味な為、あまり目立たない存在である。目立たないのにはもう一つ理由がある。明瞭とはいえないのだが夜行性の為、特に朝は群れになって池面で休息している場合が多く動きが緩慢だからである。

だが二十羽前後のオカヨシガモの群れの飛来が、広袴の風物詩の一つであることに疑いはない。よく解っている者同士は、「オカヨシが来たよ!」と、まるで旧友が訪れたみたいな言い方をし合っている。



⑥ 2016, 1, 4



⑦~⑨ 2015, 3, 26



⑫ 2020, 2, 21



⑩ 2015, 3, 26



⑪ 2015, 12, 20



① 2020, 1, 31



② 2016, 1, 4



③ 2015, 10, 30



④ 2015, 3, 26

写真⑤はオカヨシガモの群れ。敢えて二〇一二年当時の古い写真を掲載した。画面の範囲だけでも二十羽程いる。十月頃に飛来した群れは、その中でペアを組む相手を見つけ探し合う。そして三月頃には盛んに求愛が行われ、繁殖先へと渡去する。①は雄。②と③は、共に右が雄で左が雌で、仲睦まじい様子が伝わる。④は池面上で羽ばたいて

いる姿である。他の多くのカモ類と同様、オカヨシガモは水生植物や水性昆虫などの餌を食べる為、水中に頭を入れる。その際、深いところにある餌を食べる際に逆立ちのような体勢になる。それが⑥⑩の写真である。キンクロハジロのように完全に潜水するカモ類と異なり、オカヨシガモはカルガモ、マガモ、ユガモ等と同じで、逆立ちのようにして深いところ



⑤ 2012, 1, 28

の餌を食す。従って他の多くのカモ類でも観られる体勢であるが、オカヨシガモには特に多く観られる印象がある。⑫は朝七時頃の撮影で、休息する二羽の雄の様子。必ず群れで休む。首を後ろに目一杯回し、背中に載せた体勢をとる。遠くからだと生き物にみえにくい。そして背中が毛が背景の枯れたアシとよく馴染んだ保護色となっている。

念入りに集団見合いをしたからオカヨシガモのペアは仲良し (十六組 篠田泰蔵)

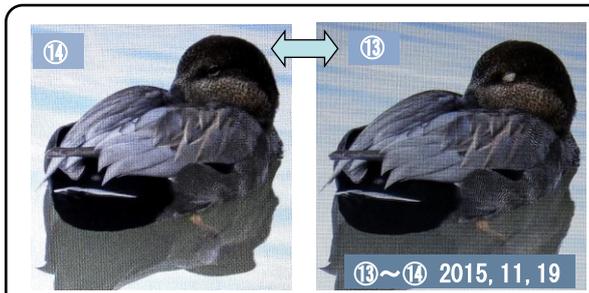


余話

写真⑬と⑭は、

オカヨシガモが群れで休息している中の一羽に注目したものの。後ろに回した首の角度は、目測だが、百五十度前後あるように見えた。

動画撮影したものを改めて見直すと、オカヨシガモは休息体勢にあっても、写真の通り、目の下から上がる白い膜で閉じたり開けたりしていることが分かった。その間隔は僅か数秒毎であった。



⑬~⑭ 2015, 11, 19